

授業コード(Class Code)	科目名 (Class)	開講semester (Semester)	曜日・時限 (Day of the Week, Period)	単位数 (Credit)	授業担当者 (Instructor)
5132080	一年次セミナー 102 (FYEエソフトウェア)	秋学期	火曜3限 火曜4限	2.0	青野 修一

授業概要 (Course Outline)

この科目は春学期に開講された「一年次セミナー101」の続編に位置づけられる。両方合わせて有意義な大学生活を過ごし、価値ある生涯にいたる価値観の醸成とその具体的な方法を提供する。この科目をとおして、学生は玉川大学における教育への積極的適応と同化をはかり、学修に対するモチベーションを向上させることが求められる。授業では全体として、①社会人としての自由と責任、②個人と社会とのかかわり、③卒業後のキャリアアップ戦略を見据えた大学4年間の学修戦略、④大学の支援資源の活用方法、⑤近年注目されつつある、個人情報、データ倫理、AI社会原則等を学ぶ。

※本科目は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の修了要件の1つとなっている。

授業を通して修得できる力 (Competency Goals)

知識・理解 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Cross-cultural Understanding	
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解 Culture / Society / Nature	
汎用的技能 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル Mathematics	
	情報リテラシー Information Literacy	
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力 Problem Solving	
態度・志向性 Personal Qualities	自己管理力 Self-management	
	チームワーク Teamwork	○
	リーダーシップ Leadership	○
	倫理観 Ethical	
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	
	生涯学習力 Lifelong Learning	

到達目標 (Objectives)

- 現代社会においてキャリアということばを使用することの意味を具体的に述べることができる。
- 社会の変化にともなう諸問題と向き合い、他者と協働して取り組むことができる。

先行履修科目の有無は、学生要覧で確認すること。

授業計画 (Course Schedule)

	テーマ(Theme)
第1回	オリエンテーション
第2回	コンピュータとインターネットの活用法Ⅱ－大学の学修・研究における利用の仕方
第3回	コンピュータとインターネットの活用法Ⅲ－大学の学修・研究における利用の仕方
第4回	コンピュータとインターネットの活用法Ⅳ－情報の活用と倫理、生成AIの使い方と注意点
第5回	個人情報の保護と関わり方
第6回	コミュニケーションのあり方Ⅰ－自分とのコミュニケーション
第7回	コミュニケーションのあり方Ⅱ－他者とのコミュニケーション
第8回	中間試験
第9回	キャリアについて考えるⅠ－なぜ働くのか
第10回	キャリアについて考えるⅡ－ライフ・デザインとキャリア・デザイン

第11回	キャリアについて考えるⅢ－キャリアの選択と社会が求める能力の養成		
第12回	社会生活とメディアⅠ－メディアとの関わり方		
第13回	社会生活とメディアⅡ－メディア・リテラシー、社会におけるデータの活用とAIリテラシー		
第14回	社会貢献について考えるⅠ－社会参加の意義		
第15回	社会貢献について考えるⅡ－ボランティア		
教科書 (Textbooks)			
書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBNコード (ISBN Code)
『大学生生活ナビ』(第二版)	小原芳明(監) 玉川大学(編)	玉川大学出版部	9784472404337
参考文献 (Reference Books)			
書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBNコード (ISBN Code)
個人情報保護法に関する資料	別途配布資料		
成績評価方法 (Grading Criteria)			
成績評価の種類 (type)	割合 (Percentage)	評価基準 (Grading Criteria)	
試験 (Exam)			
レポート (Report)	50	○それまでの学修内容を踏まえた上で、設問に対する自己の見解を他者に文章で適切に説明することができる。	
授業における取り組み (Class Participation)	10	○授業外学修に取り組んだ上で授業に参加できる。 ○学修内容(授業外学修を含める)をふまえて発表等を行うことができる。 ○グループワーク等に積極的に参加し、他者と協働して課題に取り組むことができる。	
課題等の取り組み (Assignment.)	40	○授業外学修も含み、各回の授業内容を「学修ポートフォリオ」を使用して整理することができる。 ○各回の学修内容を踏まえた上で、提示された課題に対して文章で適切に回答することができる。	
ポートフォリオの作成 (Portfolio)			
備考 (Note)			